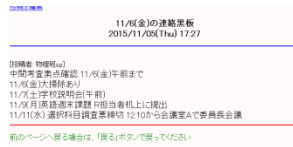


連絡掲示板の利用促進

新しい活動

連絡掲示板の投稿

自然科学研究会物理班



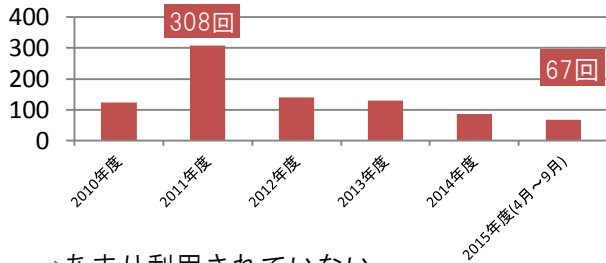
学年ごとの連絡事項を書いた連絡掲示板の内容を投稿

連絡掲示板とは

緊急時（警報発令時など）の連絡を想定して、2010年度に先輩によってNucleus CMSというブログシステムを利用して構築されたものである。現在は緊急時の利用のためには普段からの利用が必要という考えのもと、利用促進を行っている。

背景

1つの記事あたりの閲覧数の減少

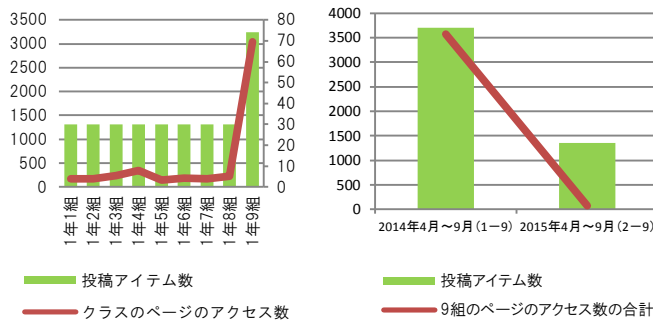


→あまり利用されていない

利用を増やすためには

クラスのページ別（2014年4月～9月）

2014年1年9組と2015年2年9組の比較



→投稿される記事を増やしていけば、普段からの利用も増えるのではないかと、という仮説が立てられる。

投稿者側(おもに先生)

生徒があまり利用していないなら、連絡事項を書いても伝わらないのでは...

閲覧者側(生徒)

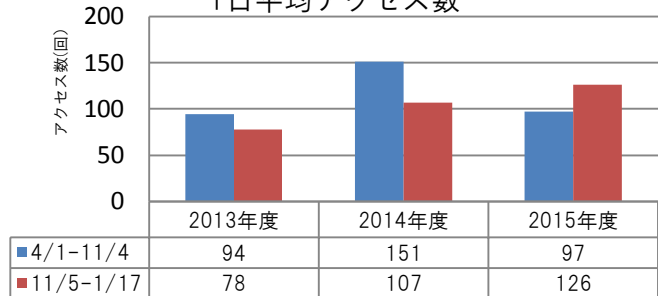
読む記事がないから利用しない

そのため

現状を変えるためには物理班が投稿を始めるべき

結果

1日平均アクセス数



* 修学旅行期間中に連絡掲示板に修学旅行の写真が投稿され毎年1日2000件程度のアクセスがあるが、他の日と値の差が大きいためこのアクセス数の比較からは外した。

今年度の連絡掲示板の投稿を始める前の期間(4/1から11/4)と後の期間(11/5から1/17)のアクセス数を比較すると増加していた。また、連絡掲示板の投稿を始めた日から一定期間のアクセス数を2013年度、2014年度と比較してみると増加していた。1つの記事あたりの閲覧数は2015年11月5日から1月17日までで平均50件であり、減少していた。

考察と今後の目標

今年度の投稿を始める前の期間よりもアクセス数が増えており、この傾向は2013年度、2014年度には見られないことから、この増加は連絡掲示板の投稿によるものであると考えられる。また一昨年、昨年の同時期よりもアクセス数が増加していることから今回立てた仮説は正しく、投稿の効果はあったと考えられる。アクセス数は2014年度のおよそ1.2倍となったが、学校の生徒全体の数に対しては小さな変化となっている。原因としては連絡掲示板の内容は日番によっても伝達されているので、連絡掲示板の情報を必要としている人が少なかったことが考えられる。更なる利用促進のために新たな機能や投稿内容を考える必要がある。

1つの記事あたりの閲覧数は減少しているが、これは連絡掲示板の記事は学年ごとに分かれているため閲覧者が分散し、また毎日更新するので記事の情報が有効な期間が1日であるためだと考えられる。2012年度以前については、1つの記事あたりの閲覧数以外にデータが残っていないのでこの指標を用いたが、記事の対象集団の人数や情報が有効な期間を考えた新たな指標を考える必要がある。今回立てた仮説は正しいことが分析により分かったので、今後は先生方に連絡掲示板への投稿を呼び掛けるとともに、生徒への連絡掲示板の周知宣伝も行っていく必要がある。